



特定非営利活動法人

東京学芸大こども未来研究所

Tokyo Gakugei Univ. Children's Institute for the Future



TECH未来通信

2021.FEB
VOL.047

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学内20周年記念飯島同窓会館1階
042-316-6645 info@techmirai.jp

TECH未来 INNOVATIVE CONTEST2022 締め切り迫る!!

これまでの活カコンテストの作品を振り返る

こんにちは。TECH未来担当STEAMインストラクターの田中です。

今年度も残すところあと1ヶ月となりました。いかがお過ごしでしょうか。

そして、今年度が終わるということでTECH未来活カコンテストの締め切りも迫って参りました。

毎年、素敵な作品をご応募いただき、誠にありがとうございます。そこで今回の通信では、これまでの作品を振り返りながらダイジェストでご紹介します！少しでも製作の参考にいただければ幸いです。



第1回「落ちない車」

一見、プログラミングで制御しているかと思いきや、動力伝達の仕組みを工夫して車が落ちないようにしているんです！通常時は前進し、車体を支えるために前に取り付けているタイヤが地面に触れなくなった瞬間に回転運動に変わるという仕組みになっているそうです。機構の部分が見えづらく、どうして落ちないの！？となってしまうところも惹きつけられる点なのかなと思います！

第4回「Pusher's Model」

すべてのパーツに違う動きをさせるために、さまざまな動力伝達をさせている点に工夫が見られます。また、回路も工夫しているようですね。最近はコロナの影響でゲーム

センターにもあまり行けないですから、お家で遊ぶにもぴったりですね。光や音を組み合わせ、さらにパワーアップさせたものも見てみたい作品です！

第6回「TEC TECスタンプ」

こちらの作品は、いつも大量のプリントをチェックする先生に少しでも楽をしてもらいたいという思いから製作されたそうです。この作品以降から、誰かのためのものづくりという視点が加わった作品の応募が増えてきた印象があります！

第7回「自動譜めくり機」

ギヤ(L)に取り付けた棒を駆使して、上下運動させるというアイデアに驚かされました。さらに、楽譜を一度めくったら終わり、ではなく動作を繰り返すことができる機構になっている点も工夫が込められている素晴らしい作品だと思います！

第8回「T.W.C 2.0」

2.0とある通り、第7回に応募した作品を改良して再応募していただいた作品です。トライ&エラーの精神に感服です。前年度は、モーターのみで動かしていたものを、プログラミングパーツを加えることで、机の上から落ちないように計測・制御をしていました。さらには、本物の掃除機を載せてゴミを吸い取ることができていた点にも感動しました！

編集後記

「活カコンテストのご案内」ページから、過去の作品を全てご覧いただけます。また、TECH未来YouTubeチャンネルにはHPに載せきれなかった作品も掲載しております。ぜひたくさんのご応募をお待ちしております！

